山口大学・大学教育再生加速プログラム（YU-AP）
FD・SDワークショップ

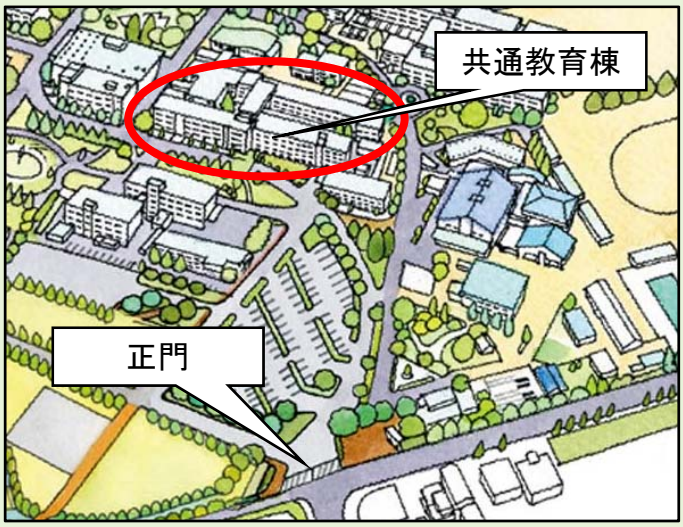
「学生調査」入門講座
～学生調査の見方、活かし方について考える～

【趣　旨】

今、大学教育において求められていることとして、学生の学修成果があります。中央教育審議会『2040年グランドデザイン答申』、第3期認証評価では、学修成果の可視化に留まらず、学修成果が社会に説明可能であることを求めています。学修成果を説明する主体は、大学はもちろんのこと、学生自身が該当します。一体、大学教育を通した学修成果は、社会に対して説明可能なものになっているのでしょうか？

今回のFD・SDワークショップでは、学生の学修成果の測定に必要不可欠な「学生調査」に焦点を当て、「学生調査」の作り方、分析や活用の仕方の基礎を学ぶとともに、参加者が抱える諸課題について対話しながら解決に繋げる機会を提供します。

本ワークショップは、山口大学・大学教育再生加速プログラム（YU-AP）の学修成果の可視化の取組の一環として開催いたします。



日時：	2019年7月18日（木） 16:10～18:00
場所：	山口大学吉田キャンパス 共通教育棟2階・26番教室 （アクティブ・ラーニング教室）
対象：	学内外の大学教職員、 高等学校関係者ほか （定員　30名）

【申込方法・問合せ先】

件名「FD・SDワークショップ申込」とし、「①氏名、②所属・職名（学年）、③E-mail」を記入の上、E-mail：yuap@yamaguchi-u.ac.jp（担当：YU-AP推進室）あてに、**7月17日（水）まで**に送信願います。なお、定員に達し次第、申込を締め切らせていただきます。

山口大学　大学教育機構 大学教育センター（YU-AP推進室）
E-mail：yuap@yamaguchi-u.ac.jp

大学教育再生加速プログラム

Student Engagement

【概　要】

16：10～16：15　開会挨拶・趣旨説明

16：15～17：15≪レクチャー ＆ ミニワーク≫

「『学生調査』の設計・分析・活用の基礎を学ぶ」
髙林　友美 山口大学 大学教育機構
大学教育センター（YU-AP推進室）　助教（特命）

17：15～17：55≪ダイアログ・セッション≫

「『学生調査』の見方、活かし方について話し合ってみよう！」
ファシリテーター：
林　　透　山口大学 大学教育機構
大学教育センター（YU-AP推進室）　准教授

17：55～18：00　クロージング・閉会挨拶

「学生調査」とは・・・間接評価の代表的な方法です。学生の学習行動や生活行動、自己認識、価値観、高校時代の学習行動等の項目から形成されている質問紙調査のことです。入学時、1年終了時、3年終了時、あるいは卒業時などに行われることが多い。アメリカの代表的な学生調査として、CIRP、CSS、NSSEが挙げられます。（山田礼子（2012）『学びの質保証戦略』玉川大学出版部の用語解説より引用）。

大学教育再生加速プログラム